



大阪でんきレター



今月のトピック

- ◆社長のひとり言
- ◆「最近、走ってますか？」
- ◆スタッフ紹介

社長のひとり言

現在の大人が未来の大人へ残さなければいけないこと



山本
としろう
利太郎

車で交差点を左折しようとして左側から横断歩道を自転車が通過しようとしていたので待っていたら勘違いをした対向車線の右折車が交差点に進入し、もう少しで自転車と接触…、悪びれることなくそのまま進行。「進行したらあかんでしょう…」

車でショッピングセンターの駐車場の入り口に進入しようとしたら、その出入口の真ん中をスマホを見ながら歩いてくる人…、進入待ちの車を横に避けようともせずに何度も私の方を見てむしろ不思議がる…。「いや、不思議なのはあなたですが…」

スーパーのレジの列でまっていると、いきなり横からスマホで電話しながら入ってきて、店員が不在のレジを物色…。タバコを購入するために購入番号を確認して「○×番を2個」とレジ最中の店員に伝えてそのまま会計…。周りだけでなく店員さんも驚き困惑しながら対応。電話しながらレジを終え、商品を袋に入れて店を後に…。

交差点にて信号が赤から青に変わったので進もうとしたら、赤信号側の横断歩道から自転車に乗った人が直進、そのまま自動車に接触…。自転車の人は「えー？」と驚いている様子。「驚いているのはこっちですが…」

これらのこととは、狭い日本の北陸の富山で私がこの一ヶ月に体験したことです。「相手を思いやる気持ち」がなくなってきたのでしょうか…。私が体験したこの出来事の相手に「なぜそうしたのか?」とは聞いていません。もちろん、すべての人がそうだと言いたいのではありません。私達には必ず相手を思いやる気持ちがあります。彼らには余裕がなかったのかもしれません。経験が足りなかつたのかもしれません。

いつから、大人は大人のやること見て見ぬふりをするようになったのでしょうか?それは「これから未来を担う子供たちに伝わってもよいことなのでしょうか? 今を一生懸命生きることも結構だけど未来について大事なことを残していくのも、今の大人である私たちの大変な役割のはずだと、自分の反省も兼ねながら思っています。

何を大事に生きていかなければいけないか、それを思うことから始めてみませんか?。

最近、走ってますか？

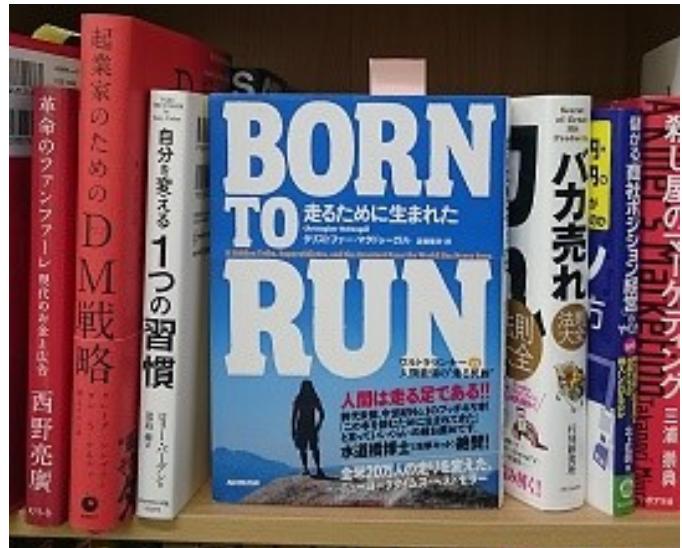
金沢マラソンにエントリーしましたが、先日の抽選の結果…、みごとに落選しました、どうも原です。でも過去2回出場して、2回完走しているんですよ☆

そんな私が「マラソンでもしようかな～」、と思うきっかけにもなった一冊を紹介したいと思います。

そのストレートな題名のとおり「人間は走るために生まれた」ということを、タラウマラ族という走る民族を通じて語っていく話です。人間の体は、進化の途中で「走る」ということに特化するように設計されていて、走ることで生きのびてきた種族なんだ、と。

なかでも衝撃的な内容だったのは、P240からのくだりで、ハイテクなランニングシューズは最悪であるということ…。つまり、今現在、スポーツ用品店などで、あたりまえに売っているあのランニングシューズがダメだと言うんです…。本来、人間の足には走るための機能が満載なのに、ハイテクなランニングシューズがその走るための機能をダメにしている…と！？

某国内メーカーのランニングシューズを2足所有している私としてはかなりショッキングな内容でした。



ニューヨークタイムズのベストセラーにもなった
「BORN TO RUN」

これを読めば走りだしたこと請け合いの1冊です。

PS:そして、すぐに影響を受けて、今、走るときは、「ヴィブラム・ファイブ・フィンガーシューズ」で走っております。(裸足感覚で走れるシューズ)



原 良

スタッフ紹介



生年月日：S57年4月7日 富山本社で営業させて頂いております、平等(たいら)と申します。

年齢：36歳

家は立山連峰が有名な立山町にすんでおります。「平等」は珍しい名字で立山町に2件しかありません。

血液型：O型
趣味：バドミントン

昨年はお客様の理解を深めるために、第二種電気工事士の免許を取得しました。

たいら きよたか
平等 清敬

将来の夢：海外旅行

仕事に、家庭に…etc…、全てに全力で取り組みたいと思っております。

大阪でんきレターは“月刊”です。あなたのアドバイス、ご意見を下記アドレスにいただけすると励みになります。

大阪電機商事(株)

富山県富山市新庄本町1丁目5番34号

TEL: 076-451-4100 FAX: 076-451-3599

yoshii@osakadenki.co.jp (吉井 俊邦)

